クビアカツヤカミキリ対策の強化を求める要望

山　梨　県　町　村　会

クビアカツヤカミキリ対策の強化を求める要望

本県では、令和８年７月にクビアカツヤカミキリの発生が確認されて以降、発生地域が拡大しており、農業振興や観光振興に深刻な影響が強く懸念されています。

幼虫が多発した場合は、樹木を枯死させるおそれがあることから、その被害は果樹生産のみならず、地域の景観にも及ぶ極めて重大な問題であります。

被害の拡大を防ぐためには、早期発見・早期防除が重要であり、発生初期から集中的かつ継続的に実施するためには、多額の経費を要し、自主財源の乏しい町村にとっては大きな負担となります。

また、他地域では被害が続いているところもあり、被害の封じこめには、実効性の高い防除技術の開発が急務となっています。

さらに、本害虫は広範囲に拡散するため、個々の町村による取組では十分な対応が困難であることから、国主導で行う広域的な防除対策の推進が必要と考えます。

こうした課題に対応し、農業振興の維持・発展と観光振興の保全を図るため、次の事項について要望します。

１　防除対策に必要な予算の確保及び継続的な支援体制の構築

本害虫は、一旦定着すると短期間で急速に被害が拡大するため、発生初期における面的かつ徹底した防除が極めて重要です。

町村では、関係機関と連携し防除に努めておりますが、被害木調査、散布や樹幹注入による薬剤防除、伐採等を継続的に実施するためには、多額の経費を要します。

自主財源の乏しい町村では、対応に限界があるため、国において必要な予算を十分に確保するとともに、現場が円滑に活用できるよう、継続的かつ安定的な財政支援の仕組みを構築していただきたい。

２　実効性の高い防除技術の開発及び専門的な支援

現在の薬剤散布や伐採等の防除は、被害の拡大防止に一定の効果が期待できるものの、縮小に向けた効果的な手法が確立されているとはいえません。

また、専門知識や経験を持つ職員が不足する町村の現場では、適切な判断ができず被害が拡大する懸念があるため、迅速な状況把握と的確な指導を受けられる人的支援の仕組みが必要です。

人的支援の充実を図るとともに、より実効性の高い防除技術の開発には、スピード感をもって取り組んでいただきたい。

３　広域的な防除体制及び情報共有体制の整備

本害虫は、広範囲に拡散するため、一町村による取組では十分な対応が極めて困難です。

このため、効果的な防除対策を進めるためには、国や関係機関が連携して、発生状況等を緊密に共有する体制を構築し、国主導による広域的な防除体制の整備を行うとともに、私有地においても、確実な防除が行われるよう、迅速な立入調査・防除や所有不明土地への対応に必要な制度整備を行っていただきたい。

令和８年１０月２８日

環境大臣　笹 川　博 義　殿

山 梨 県 町 村 会
会 長　望 月　幹 也